

フィブラート製剤 桜ヶ丘院内フォーミュラー ※1

		第一選択 ※2	第二選択
医学的区分	高脂血症	<p>フェノフィブラート錠</p> <p>(先発名:リピディル)</p>	<p>ベザフィブラート錠</p> <p>(先発名:ベザトール SR)</p>

※1参考ガイドライン:①糖尿病診療ガイドライン2019②動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版等 ※2第一選択薬とは薬効群中において臨床上必要度が高い医薬品、第二選択薬とは第一選択薬で代替可能ではあるが当院における使用実績等を参考に使用する医薬品

2024年10月発行

フィブラート製剤 概要

※ペマフィブラート(パルモディア)は院外採用のみのため未掲載

採用薬名	フェノフィブラート錠80mg 「武田テバ」(後発)	ベザフィブラート徐放錠200mg 「トーワ」(後発)	<p>【第一選択薬について】 各種ガイドラインへの引用度が高く、各種試験の報告も多い。TG、LDL 低下、尿酸排泄作用、糖尿病網膜症進展抑制が報告されている。利便性・経済性にも優れ、地域における処方量も多い。</p> <p>【第二選択薬について】 TG、LDL 低下がフェノフィブラートと同様。肝機能障害時も投与が可能であり経済性に優れる。</p> <p>ベザフィブラート 200mg ≒ フェノフィブラート80mg</p>
採用区分	院内・院外	院内・院外	
採用規格 薬価 (1錠)	10.1円/錠	10.1円/錠	
用法	1日1回投与	1日2回投与	
妊婦・授乳婦	禁忌	妊婦禁、授乳は動物で移行報告	
腎・肝に関する量	肝障害、SCr \geq 2.5mg/dl には禁忌	肝機能患者へ投与可能 SCr \geq 2.0mg/dl には禁忌	